

統計は、人口・経済・社会などあらゆる分野の現象を数値で把握できる便利な情報源です。ここでは、国や地方公共団体、民間が作成している統計の中から、当館で利用できる主な統計資料やインターネット情報を紹介します。詳しくは調査相談カウンターまでお問い合わせください。

★リサーチ・ナビ(統計)

●リサーチ・ナビ <https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/statistics>

統計情報を調べる際にまず参考になるのが、国立国会図書館が運営するリサーチ・ナビです。調査のポイントや参考になる資料、便利なデータベース、使える Web サイト、関係する機関など、調べものに役立つ情報を特定のテーマ、資料群別に紹介するものです。分野ごと、地域ごと、年代ごとの統計情報の調べ方が多数紹介されています。

例：「統計の調べ方：過去編」「統計の調べ方（アジア全体）」「地域に関する統計」
「国際連合-主要統計」「統計の調べ方：基礎編」 など

総合統計（日本の統計を幅広く見る）

インターネットでの探し方

●総務省統計局ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

「国勢調査」や「人口推計」など総務省統計局が実施している統計調査を、分野別や50音順などのわかりやすい検索機能で探すことができます。また『日本統計年鑑』や『世界の統計』など、総務省統計局が刊行する統計書をダウンロードできます。

●e-Stat（政府統計の総合窓口）<http://www.e-stat.go.jp/>

日本の各府省等が実施している全ての統計調査の各種情報を、キーワード、統計分野、作成機関名等で検索できます。

この調べ方ガイドでは、「e-Stat」で閲覧できるデータの冒頭に[e]をつけています。

統計データの多くはインターネット上で公開されており、図書館に来館しなくても、自宅のパソコンなどで簡単にデータを入手できます。特に「e-Stat」は、日本政府の統計調査を網羅しているのでおすすめです。

図書での探し方

●『日本統計年鑑』総務省統計局 年刊

日本の国土、人口、経済、社会、文化などあらゆる分野にわたる基本的な統計を、網羅的かつ体系的に収録。キーワードから引く索引もあります。この中からよく利用される統計を選んでコンパクトにまとめた『日本の統計』もあります。最新刊と数年分のバックナンバーは、「総務省統計局ホームページ」で閲覧できます。

●『日本国勢図会』矢野恒太記念会 年刊

日本の経済・社会に関するデータを総合的に収集。前年の日本・世界の10大ニュース、キーワード索引、主要な長期統計、府県別統計などもあります。

長期にわたる統計（累積統計）

- 『新版 日本長期統計総覧』 全5巻・総索引 日本統計協会
明治から平成にかけてのあらゆる分野にわたる長期統計を収録。
- 『明治大正国勢総覧』 東洋経済新報社
明治・大正の国勢に関する統計を収録。
- 『完結昭和国勢総覧』 全4巻 東洋経済新報社
大正9年頃から昭和63年頃までの広範な分野における主要統計を掲載。
- 『数字でみる日本の100年』 矢野恒太記念会 不定期刊
『日本国勢図会』の長期版。年表や解説もあり、明治以降の各分野における推移がわかります。

人口に関する統計

人口に関する主要な統計調査には、5年ごとに行われる国勢調査や、厚生労働省の人口動態調査などがあり、調査結果の多くは、各府省庁や地方公共団体などのホームページで公開されます。

インターネットでの探し方

- **e-Stat**（政府統計の総合窓口）で検索
トップページの「統計データを探す 分野」にある「人口・世帯」を選択。もしくはキーワード検索で「人口」と入力します。
- **大分県の人口を検索** <https://www.pref.oita.jp/site/toukei/index-cpe.html>
大分県のホームページで検索します。
サイトマップから「主な統計」→「人口推計」→「大分県の人口推計」を選択。
毎月1日現在の総人口、市町村別人口、世帯数、人口の移動状況等について掲載しています。

図書での探し方

- e 『人口動態統計』 厚生労働統計協会 年刊
出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の5種類の「人口動態事象」についての調査結果を掲載。
平成28年まで、上巻・中巻・下巻の3分冊の報告書として編集・刊行していましたが、平成29年からは概要を中心とした内容を1冊に収録しています。それまで収録してきた統計表は、収録できなかったものもあわせて「e-Stat（政府統計の総合窓口）」に掲載しています。
- e 『住民基本台帳人口移動報告』 総務省統計局 年刊
市区町村における毎月の転入者の情報に関するデータをもとに、人口移動の状況を収録。
- e 『在留外国人統計』 出入国在留管理庁 年刊
日本に在留する外国人についての統計を掲載。日本に在留する外国人の総数の他、国籍・地域別・在留資格別の人数や、都道府県別等の在留外国人の人数等を掲載。
- e 『出入国管理統計年報』 出入国在留管理庁在留管理支援部情報分析官 年刊
法務省が行う出入国管理に関する統計調査をまとめています。出入国者の人数や、入国審査・在留資格審査・退去強制手続き等に関する調査結果を掲載。

大分の統計

インターネットでの探し方

- **大分県の統計**（大分県庁ホームページ内）<http://www.pref.oita.jp/site/toukei/>
大分県庁全体の統計分野に関するデータを公開。分野別、50音順で検索できます。大分県が発行している『大分県統計年鑑』などの統計資料等も公開しています。

図書での探し方

- 『**大分県統計年鑑**』大分県、大分県統計協会 年刊
大分県の人口、土地、産業、経済、福祉、文化などあらゆる分野の基本的な統計を総合的に収録。昭和25年（1950年）から所蔵しています。

地域別の統計

インターネットでの探し方

- **e-Stat**（政府統計の総合窓口）で検索
都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）
<https://www.e-stat.go.jp/regional-statistics/ssdsview>

国民生活全般の実態を示す統計データ「社会・人口統計体系」のなかから、必要とするデータを地域や統計項目で抽出できます。地域の比較に便利な機能として、類似する地域を検索し抽出する「類似地域を検索」や、項目ごとのランキング表示などがあります。

図書での探し方

- e 『**社会生活統計指標—都道府県の指標—**』総務省統計局 年刊
「社会・人口統計体系」のなかから、都道府県別の主な統計データを抜き出してまとめています。人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、文化・スポーツ、居住、健康・医療、福祉・社会保障、安全、家計、生活時間などの分野があります。
- e 『**統計でみる都道府県のすがた**』『**統計でみる市区町村のすがた**』総務省統計局 年刊
上記の『社会生活統計指標—都道府県の指標—』の中から主な指標を選び、都道府県ごと、もしくは市町村ごとを一覧できるように編成。それぞれの地域について各地域の順位がわかります。
- 『**データでみる県勢**』矢野恒太記念会 年刊
『日本国勢図会』の姉妹本で、都道府県ごとの統計を中心に集録。市町村の主要データも掲載。各都道府県別の実態を経済指標、生活指標のレーダーチャート、人口ピラミッドや主要統計データで表しています。市町村の主要統計も載っており、巻末索引でキーワード検索ができます。

- 『**全国市町村要覧**』 第一法規 年刊
市区町村別の人口、世帯数、面積、人口密度、高齢者人口、産業別就業人口などを掲載。各市町村の役所や役場の位置、市区町村長名、市町村合併の状況なども集録。
- 『**日本都市年鑑**』 第一法規 年刊
全国の市や東京 23 区の人口、行政、都市計画などの統計情報を掲載。
- 『**地域経済総覧**』 東洋経済新報社 年刊
各都道府県・市区町村の経済や社会に関するデータを掲載。
- 『**地域ハンドブック 地域データと政策情報**』 日本政策投資銀行 年刊
都道府県や主要都市等の経済、産業、生活、行財政等に関するデータを収録。

世界の統計

- 『**世界の統計**』 総務省統計局 年刊
世界の国や地域の人口、経済、社会、文化などに関する主要な統計を、多数の国際統計資料から選んで収録。最新刊と数年分のバックナンバーは、「総務省統計局ホームページ」で閲覧できます。
- 『**世界国勢図会**』 矢野恒太記念会 年刊
人口、労働、経済、資源、産業、軍事など世界の社会・経済情勢を表とグラフでわかりやすく解説。
- 『**世界統計年鑑**』 原書房 年刊
国際連合統計局が世界各国の機関及び国際機関から収集した統計を、人口、経済活動、国際経済関係などの分野に分け、ほぼ 10 年分を収録。
- 『**図表でみる世界の主要統計 OECD ファクトブック**』 経済協力開発機構 1-2 年に 1 回
OECD が収集した統計の中から、経済、環境、社会等に関するデータを掲載。
最新版が 2015-2016 年版。
- 『**世界年鑑**』 共同通信社 年刊
1 年間に世界各地で起きたできごとや国際情勢、各国の主要なデータを掲載。
- 『**地図でみる世界の地域格差**』 明石書店 2-3 年に 1 回
世界の地域の経済力、幸福度、人口移動、都市経済、地方政府の財政など、OECD の統計から地域間格差に関するデータを収録。